

概要説明書

概要説明書(その1)		※登録No.	1902002A		
新技術の名称	ブロフジョイントCDx型	※登録年月日	R2.3.2申請情報		
		※変更登録年月日			
副題	走行性・施工性・止水性に優れた橋梁用伸縮装置	開発年月	2017.10		
申請概要					
申請者	会社名	東京ファブリック工業株式会社 福岡支店			
	住所	福岡市博多区博多駅南1-6-22			
開発者との関係					
開発者	会社名	東京ファブリック工業株式会社			
	住所	東京都新宿区西新宿2丁目1番1号 新宿三井ビル29階			
従来技術と比べ優れている点	橋梁伸縮継手装置の伸縮部(ゴムパッキン表面)を鋼製のプレートで覆っているため、従来の製品より耐久性が大幅に向上した。また、鋼製プレートを波形構造にすることで、車両走行がスムーズとなり騒音低減を実現できる。さらにゴムパッキンと弾性シール材の二重構造により止水性を高めた。				
NETISへの登録状況	<input type="checkbox"/> NETIS登録している				
	工種区分(レベル1、2まで記入)	登録年月日	登録番号	評価結果	
新技術・新工法の分類					
区分	<input type="radio"/> 工法 <input type="radio"/> 材料 <input type="radio"/> 機械 <input checked="" type="radio"/> 製品 <input type="radio"/> その他				
分類	分類1	分類2	分類3	分類4	
	橋梁上部工	橋梁用伸縮継手装置設置工			
キーワード (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 施工精度の向上 <input checked="" type="checkbox"/> 耐久性の向上 <input type="checkbox"/> 安全性の向上				
	<input type="checkbox"/> 作業環境の向上 <input checked="" type="checkbox"/> 環境保全 <input type="checkbox"/> 地球環境への影響抑制				
	<input type="checkbox"/> 省資源・省エネルギー <input checked="" type="checkbox"/> 品質の向上 <input type="checkbox"/> 建設副産物の排出抑制				
	<input type="checkbox"/> 経済性・生産性の向上 <input type="checkbox"/> 工期短縮 <input type="checkbox"/> 施工性向上				
	<input type="checkbox"/> 伝統・歴史・文化				
	<input type="checkbox"/> その他				
問合せ先	技術	会社名	東京ファブリック工業株式会社 福岡支店		
		担当部署			
		担当者	井上博樹		
		住所	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-6-22		
		Tel	092-441-2811		
		Fax	092-441-2820		
		E-mail	h-inoue@tokyo-fabric.co.jp		
	ホームページURL	https://www.tokyo-fabric.co.jp/			
	営業	会社名	東京ファブリック工業株式会社 福岡支店		
		担当部署			
		担当者	花岡真太郎		
		住所	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-6-22		
		Tel	092-441-2811		
		Fax	092-441-2820		
E-mail		hanaoka@tokyo-fabric.co.jp			
ホームページURL	https://www.tokyo-fabric.co.jp/				

※の欄は、記入の必要がありません。

概要説明書(その2)

新技術の名称	ブロフジョイントCDx型	※登録No.	1902002A
新技術の概要 ※検索結果に表示する技術の概要です(全角120文字以内)			
ブロフジョイントCDx型は、伸縮部表面を鋼製プレートで覆っているため、従来の製品より耐久性が大幅に向上する。また、鋼製プレートを波形にし走行性を高め、さらに弾性シール材とゴムパッキンの二重構造により止水性を高め、橋梁の老朽化を防ぐ製品です。			
新技術の概要			
①何について何をする技術か？ ・橋梁伸縮継手装置において、伸縮部のゴムパッキン表面を鋼製プレートで覆い、橋台・橋脚部での伸縮量を吸収・追従し変位する製品			
②従来はどのような技術で対応していたか？ ・従来は表面ゴムだけの製品			
③公共工事のどこに適用できるか？ ・橋梁新設工事・橋梁補修工事			
新技術のアピールポイント(課題解決への有効性)			
・表面鋼製プレートによって、耐荷重性能の向上。 ・走行性能の向上。 ・弾性シール材とゴムパッキンの二重構造による止水性能の向上。			
新規性及び期待される効果			
①どこに新規性があるのか？(従来技術と比較して何を改善したのか？) ・従来技術と比べ、鋼製プレート及び弾性シール材を用いている点に新規性がある。これにより走行性、耐久性及び止水性が向上する。			
②期待される効果は？(新技術活用のメリットは？) ・耐久性能の向上により、ライフサイクルコストの削減。止水性能の向上により橋梁自体の長寿命化。走行性能の向上により騒音の削減。			
適用条件			
①自然条件 ・特になし(施工可能の天候であれば問題なし)			
②現場条件 ・特になし(製品搬入可能で施工可能であれば問題なし)			
③技術提供可能地域 ・日本全域可能です。			
④関係法令等 ・道路橋示方書			

※の欄は、記入の必要がありません。

概要説明書(その3)

新技術の名称	プロフジョイントCDx型	※登録No.	1902002A
適用範囲			
<p>①適用可能な範囲（公共工事への適用性は必ず記入する。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計伸縮量～100mm及び標準目地遊間186mm以内の橋梁 <p>②特に効果の高い適用範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・騒音対策が必要な路線 <p>③適用できない範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伸縮量100mmを超える橋梁 ・標準目地遊間187mmを超える橋梁 ・【例】鋼桁で桁長139m(1径間で)を超える橋梁(伸縮量を計算すると100.4mmとなる) 			
ニーズへの対応			
<p>①社会的ニーズへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伸縮継手装置の伸縮量100mmまでの製品ラインナップと製品高さを抑えることにより幅広い橋梁に対応可能。 ・伸縮継手装置部の漏水に対して弾性シール材とゴムパッキンの二重構造により対応。 ・走行性が改善されることにより市街地等での車両走行音の低減につながる。 <p>②県土整備部発注工事への対応(道路、河川、ダム、港湾、海岸、砂防、地すべり、急傾斜地に関する事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路、河川、ダム、港湾等の橋梁伸縮継手装置設置(補修)工事 			
留意事項			
<p>①設計時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製品規格におさまる伸縮量(100mm以内)遊間量(186mm以下)を確認すること。 <p>②施工時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常の伸縮継手装置施工と変更なし <p>③維持管理時</p> <p>鋼板プレートの段差がないこと。弾性シール材の劣化。</p> <p>④その他</p> <p>特になし</p>			

※の欄は、記入の必要がありません。

概要説明書(その4)

新技術の名称	プロフジョイントCDx型			※登録No.	1902002A																
活用の効果																					
比較する従来技術	プロフジョイントN II 型(表面ゴム製伸縮装置)																				
項目	活用の効果			比較の根拠																	
経済性	<input type="radio"/> 向上 ()	<input type="radio"/> 同程度	<input checked="" type="radio"/> 低下 (23%)	初期費用に関しては高くなるが、従来製品より耐久性があるため(15年から30年に上昇)、ライフサイクルコスト(道路橋示方書による100年対応橋梁を基準とした場合)が大幅に改善する。																	
工程	<input type="radio"/> 短縮 ()	<input checked="" type="radio"/> 同程度	<input type="radio"/> 増加 ()																		
品質	<input checked="" type="radio"/> 向上	<input type="radio"/> 同程度	<input type="radio"/> 低下	・耐久性が平均15年から30年に向上する。 ・弾性シール材とゴムパッキンの二重構造により止水性が向上する。																	
安全性	<input type="radio"/> 向上	<input checked="" type="radio"/> 同程度	<input type="radio"/> 低下																		
施工性	<input type="radio"/> 向上	<input checked="" type="radio"/> 同程度	<input type="radio"/> 低下																		
環境保全	<input type="radio"/> 向上	<input checked="" type="radio"/> 同程度	<input type="radio"/> 低下																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準数量</th> <th>1</th> <th>単位</th> <th>m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>新技術(A)</td> <td>従来技術(B)</td> <td>変化値1-A/B(%)</td> </tr> <tr> <td>経済性</td> <td>102,800 円</td> <td>83,800 円</td> <td>-23%</td> </tr> <tr> <td>工程</td> <td>1 日</td> <td>1 日</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>						基準数量	1	単位	m		新技術(A)	従来技術(B)	変化値1-A/B(%)	経済性	102,800 円	83,800 円	-23%	工程	1 日	1 日	0%
基準数量	1	単位	m																		
	新技術(A)	従来技術(B)	変化値1-A/B(%)																		
経済性	102,800 円	83,800 円	-23%																		
工程	1 日	1 日	0%																		

※の欄は、記入の必要がありません。

概要説明書(その5)

新技術の名称	プロフジョイントCDx型					※登録No.	1902002A
活用の効果の根拠							
●新技術の内訳				基準数量: 1m あたり			
項目	仕様	数量	単位	単価 (円)	金額 (円)	摘要	
LCC	プロフジョイントCDx型-20用	1	m	65,000	65,000		
LCC	新設材料施工費	1	回	37,800	37,800	施工費は土木コスト情報	
合計					102,800		
●従来技術の内訳				基準数量: 1m あたり			
項目	仕様	数量	単位	単価 (円)	金額 (円)	摘要	
LCC	プロフジョイントN II 型-20用	1	m	46,000	46,000		
LCC	新設材料施工費	1	回	37,800	37,800	施工費は土木コスト情報	
合計					83,800		

※の欄は、記入の必要がありません。

概要説明書(その6)

新技術の名称	プロフジョイントCDx型		※登録No.	1902002A
施工単価	<input type="radio"/> 歩掛りなし	<input checked="" type="radio"/> 歩掛りあり	(歩掛り種別)	<input checked="" type="radio"/> 標準 <input type="radio"/> 暫定 <input type="radio"/> 協会 <input type="radio"/> 自社
・土木コスト情報に準ずる				
施工方法				
・土木コスト情報に準ずる				
残された課題と今後の開発計画				
①課題				
・地覆部と接する際(端部)の止水処理。				
②計画				
・特になし				
施工実績	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし			
福岡県が発注した工事	1	件	/	
他の公共機関が発注した工事	30	件		
民間等が発注した工事		件		

※の欄は、記入の必要がありません。

概要説明書(その7)

新技術の名称	プロフジョイントCDx型				※登録No.	1902002A
特許・実用新案					番 号	
特 許	<input type="radio"/> あり	<input type="radio"/> 出願中	<input type="radio"/> 出願予定	<input checked="" type="radio"/> なし		
実用新案	<input type="radio"/> あり	<input type="radio"/> 出願中	<input type="radio"/> 出願予定	<input checked="" type="radio"/> なし		
他の機関による 評価・証明	証明機関					
	制度名					
	番号					
	評価等年月日					
	証明等範囲					
	URL					
添付資料						
○実験資料等						
○積算資料等						
○施工管理方法資料等 土木施工管理の手引きによる						
○出来形管理方法資料 土木施工管理の手引きによる(Ⅲ-168ページ)						
○その他						
参考資料						

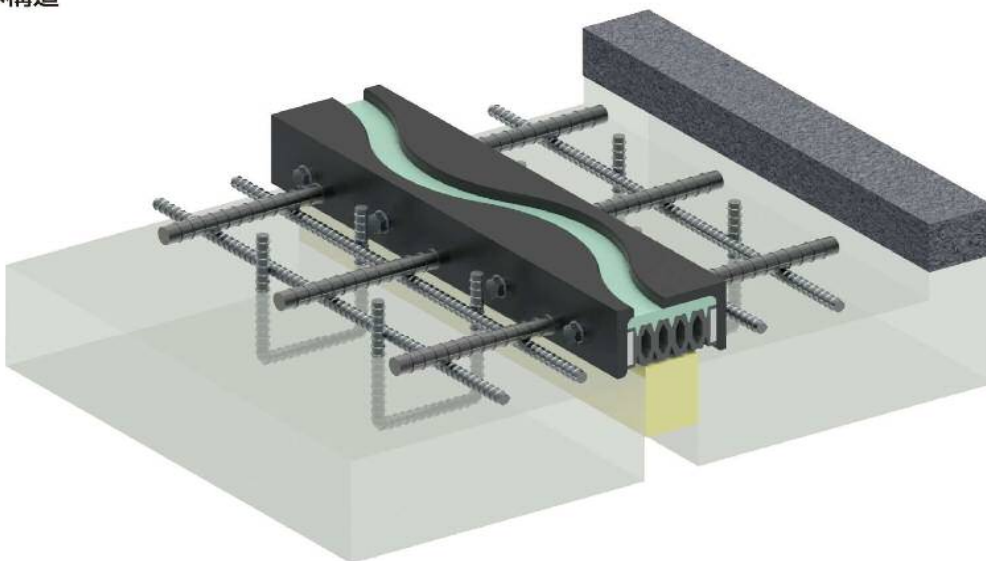
※の欄は、記入の必要がありません。

概要説明書(その8)

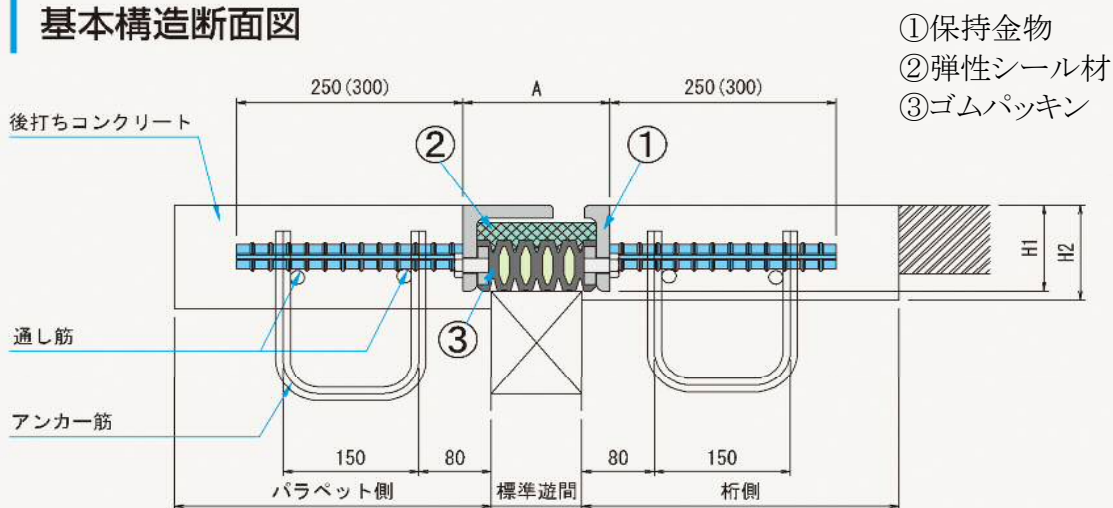
新技術の名称 **プロフジョイントCDx型** ※登録No. 1902002A

概要図、写真等

基本構造



基本構造断面図



※()内は80用、100用を示す。

標準寸法表

規格	有効伸縮量	標準遊間	A	H1	H2	重量(kg/1.8m)
CDx型 - 20用	20	62	76~96	75	90	61
CDx型 - 30用	30	77	86~116	75	90	67
CDx型 - 40用	40	100	104~144	75	90	75
CDx型 - 50用	50	109	110~160	90	100	93
CDx型 - 60用	60	132	132~192	100	110	117
CDx型 - 80用	80	176	174~254	150	160	187
CDx型 - 100用	100	186	186~286	150	160	229

※の欄は、記入の必要がありません。

概要説明書(その9)

新技術の名称		プロフジョイントCDx型		※登録No.	1902002A
施工実績一覧					
区分	発注者	地域機関名	施工時期	工事名	CORINS登録No.
県内における 施工実績	福岡県南筑後 県都整備事務 所	福岡県	2018.2	県道久留米柳川線猫橋(外5橋)橋梁 補修工事	
	福岡市役所		2019.11	平成31年度美野島陸橋補修・補強工 事	
	北九州市役所		2019.3	神嶽川管理道整備工事(30-1)	
県外における 施工実績	佐賀市役所		2019.5	御船小屋橋(1~3工区)補修工事	
	長崎河川国道 事務所	国交省	2019.12	大村管内橋梁補修工事	
	熊本県農林水 産部		2019.12	秋津地区県営農地等災害復旧事業 第25号工事	
	鹿児島県始良・ 伊佐振興局		2019.1	山神橋補修工事	
	宮崎県諸塚村 役場		2019.2	中河内橋補修工事	
	鹿児島県中種 子町役場		2019.3	大平陸橋補修工事	
	長崎県西海市 役所		2019.1	市道中央線橋梁(山祇橋)補修工事	

※の欄は、記入の必要がありません。